

趣 意 書

恒久平和は、守山市民の願いです。

世界では争いが絶えない中、私たちは戦争の惨禍を二度と繰り返さないとの誓いのもと、80年にわたり今日の平和を維持し続けてきました。一方で戦禍の時代を生きた人々は少なくなり、戦争の惨さや辛苦の記憶の継承は年々難しくなっています。

守山市では、昭和63年議会議決「のどかな田園都市守山」平和都市宣言をはじめ、平成9年には「平和の祈り像」「広島被爆石」の設置、平成28年には「長崎被爆二世の柿の木」の植樹等、「平和の広場」を整えるとともに、「平和のよろこび展」「平和を誓うつどい」等平和事業を毎年開催し、市民一人ひとりが平和の大切さを理解できるよう努めてきました。戦争の惨禍を決して風化させず、平和の尊さを後世へ伝えていくことは、本市の果たすべき重要な使命です。

この度、終戦80年を迎えるにあたり、戦没者等への追悼の意を表し、恒久平和を祈念するため、【平和祈念碑の名前】を設置することとしました。この碑には、日清戦争以降の日本の戦争における戦死や空襲等による死没等、戦争により尊い命を失われた人々の氏名が刻まれています。私たちは、実存した一人ひとりの命や人生が戦争によって失われた事実を受け止めなければなりません。そして、ここに氏名を刻まれていない数多の犠牲者や戦中戦後の困窮等、日々の生活が変わらざるを得なかった人々が存在していることも忘れてはなりません。

これまでの平和はこれからの平和を約束するものではなく、私たち一人ひとりが戦争の悲惨さと平和の尊さを学び続け、平和を維持する不断の努力によってのみ継承されるものです。

今日の平和を次の世代に引き継げるよう、戦没者等への追悼の意を表するとともに、恒久平和を祈念し、市民の皆様とともに平和の取組みを進めることを誓い、ここに【平和祈念碑の名前】を建立します。

令和7年（2025年）8月
守山市長 森中 高史